

○計画期間：平成28年4月～平成33年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成28年度終了時点（平成29年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市の中心市街地活性化基本計画（平成28年3月15日内閣総理大臣認定）は、「「海・食・時」のまちに更なる魅力を想像しにぎわいあふれるまちへ」を基本コンセプトとし、旧基本計画同様「便利で暮らしやすいまち」「一歩足を伸ばして楽しめるまち」を重点目標に設定し、官民一体となって取り組んでいる。

平成28年12月1日に明石駅前再開発ビル「パピオスあかし」の商業施設の大部分がオープンし、「明石駅前広場」及び「国道2号立体横断歩行者道路」の供用が開始となった。平成28年12月9日に「あかし市民広場」がオープンし、平成29年1月27日に公共施設（「あかし総合窓口」、「あかし市民図書館」及び「あかしこども広場」の一部）及び大型書店等の商業施設がオープンした。平成29年3月4日にあかしこども広場内に明石たこ大使さかなクンの「ギョギョルーム」がオープンした。平成29年3月15日に住宅棟の超高層タワーマンション（総戸数214戸）が竣工し、入居開始となった。

平成28年12月に「パピオスあかし」がオープンしてから中心市街地に訪れる人が増加し、中心市街地の賑わいが創出されている。特に「あかし市民図書館」及び大型書店の集客効果が大きく、「パピオスあかし」を中心とする賑わいが創出されている。また、商店街等が連携し、定期的に行っているイベント「明石まちなかバル」「春旬祭」「明石半夏生たこまつり」等のイベント及び大衆劇場「ほんまち三白館」の集客力により回遊性が向上している。

平成29年3月末をもって本基本計画の核事業である「明石駅前南地区第一種市街地再開発事業」が完了した。今後、「パピオスあかし」を中心とする賑わいを持続及び波及させるため、中心市街地全体での連携やイベント等を精力的に行い、既存施設等の資源を効果的に使っていくことが必要である。

2. 平成28年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

平成28年度は「パピオスあかし」開業後の平成29年2月に中心市街地活性化協議会を開催し、中心市街地の現状や活性化事業の取組状況について、報告や意見交換等を行った。

『「パピオスあかし」のオープンにより賑わいが生まれ、いいスタートになった。「パピオスあかし」を通り抜け、立体横断デッキを通過して、雨に濡れることなく南側の商店街等へ行くことができる。新たな回遊性が生まれたことは評価すべきである。「パピオスあかし」には「あかし市民広場」等ゆっくりできる憩いの場が多く、来街者からの評判がいい。今後、目的がなくても訪れたいようになるように来街者のニーズと中心市街地の機能が合っているのか定期的に確認し、見直していく必要がある。賑わいを持続させ、中心市街地全体に広げられるよう議論を重ねていきたい。今後は、明石駅や商店街周辺だけでなく、明石港周辺の活性化についても検討していきたい。』

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
便利で暮らしやすいまち	都市福利施設利用者数 (人/年)	452,001 (H26)	900,000 (H32)	540,115 (H28)	—	①
一歩足を伸ばして楽しめるまち	歩行者・自転車通行量 (人/日)	16,737 (H27)	20,000 (H32)	16,973 (H28)	—	①
	新規出店者数 (店/年)	12 (H27)	12 (H28～H32 平均)	22 (H28)	—	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

都市福利施設利用者数については、平成28年4月から平成29年3月までの合計利用者数を用いている。平成29年1月27日の「パピオスあかし」公共施設オープンまでの旧施設での利用者数と「明石市立図書館」の移転準備のための3か月の休館期間の実績が反映されているため、目標値に達していない。平成29年1月27日「パピオスあかし」公共施設オープン後の「あかし市民図書館」の利用者数が多く、年換算すると目標値を大きく上回る。「あかしこども広場」の利用者数を年換算すると目標値を上回る。「あかしこども広場」は平成29年4月以降親子交流スペース及び中高生世代交流施設等が順次オープンするため、さらなる利用者数の増加が見込まれる。「あかし総合窓口」の利用者数は増加したが、年換算すると目標値を下回る。今後、利用者数の維持及び増加を図ることにより、目標達成は可能と見込まれる。

歩行者・自転車通行量については、毎年10月に実施しているため、平成28年10月に行った調査結果を用いている。「パピオスあかし」オープン前に行った調査であるため、結果は基準値から微増となった。参考に「パピオスあかし」公共施設オープン後の平成29年2月に調査を行ったところ、18,124人/日と目標値に達していないが、基準値より増加した。平成29年3月中旬から「パピオスあかし」住居棟の入居が始まり、新たな住民による通行量の増加が見込める。今後、「パピオスあかし」に訪れる人が商店街区域まで足を伸ばしたくなるようなイベント等を積極的に行い、回遊性を向上させ、通行量の増加を図ることにより、目標達成は可能と見込まれる。

新規出店者数については、「パピオスあかし」完成による来街者の増加を見込んでの新規出店と国道2号明石駅前交差点改良に伴う移転等により目標値を大きく上回った。経済状況等不透明な外的要因により、増減する可能性があるが、歩行者・自転車通行量を増加させる事業及び商業環境を向上させる事業を行うことにより、目標達成は可能と見込まれる。

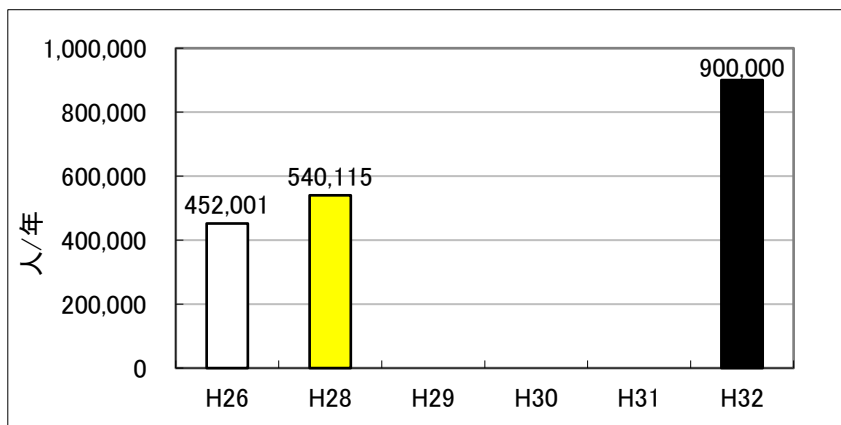
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

2期基本計画フォローアップとして、今回1回目のフォローアップである。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「都市福利施設利用者数」※目標設定の考え方基本計画 P64～P67 参照

●調査結果の推移



年	人/年
H26	452,001 (基準年値)
H28	540,115
H29	
H30	
H31	
H32	
H32	900,000 (目標値)

※調査方法：各都市福利施設の年間利用者数により算出

※調査日：平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

※調査主体：明石市

※調査対象：都市福利施設利用者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. あかし市民図書館整備事業（明石市）

事業完了時期	平成26年度～平成28年度【済】
事業概要	明石駅北側の明石公園内に整備されていた「明石市民図書館」を「パピオスあかし」に移転整備、運営を行う。
事業効果及び進捗状況	平成29年1月27日に「あかし市民図書館」がオープンした。収蔵数及び床面積が増加し、利便性が向上したため、平成29年3月末時点で入館者数20万人（登録者数1万8千人）を突破しており、中心市街地活性化のシンボルとなっている。

②. あかしこども広場整備事業（明石市）

事業完了時期	平成26年度～平成28年度【済】
事業概要	「パピオスあかし」に子育て支援、次世代育成、子どもの健康、子どもを中心とした幅広い世代間交流及び人が学び成長する学びの場を担う拠点として、あかしこども広場を整備、運営を行う。
事業効果及び進捗状況	平成29年1月27日に「こども健康センター」、「あかし子育て支援センター」（プレイルーム及びこども図書館）及び「にこにこ保育ルーム」（一時保育スペース）がオープンした。平成29年3月4日に明石たこ大使さかなクンの「ギョギョルーム」がオープンした。平成29年4月1日に「明石市ファミリーサポートセンター」、平成29年4月

20日に親子交流スペース「ハレハレ」、中高生世代交流施設「AKASHIユーススペース」及び「多目的・キッチン・工作ルーム」がオープンし、全面オープンとなる。子どもを核としたまちづくりの拠点として、幅広世代の人が利用している。市内人口及び出生数が増加しているなか、あかしこども広場の全面オープンによりさらなる利用者の増加が見込まれ、中心市街地の活性化に貢献している。

③. あかし総合窓口整備事業（明石市）

事業完了時期	平成26年度～平成28年度【済】
事業概要	「パピオスあかし」に市民の利用頻度が高い証明書発行や保険、福祉等の行政窓口機能を整備、運営を行う。
事業効果及び進捗状況	平成29年1月27日に「あかし総合窓口」がオープンした。明石駅前の「パピオスあかし」に利用頻度の高い行政窓口機能を整備することで、利便性が向上し、幅広い世代の市民が行政窓口に行く際の負担を軽減することができる。「あかし総合窓口」に訪れた人が、商業施設や商店街に足を伸ばすことにより、中心市街地の活性化を図る。

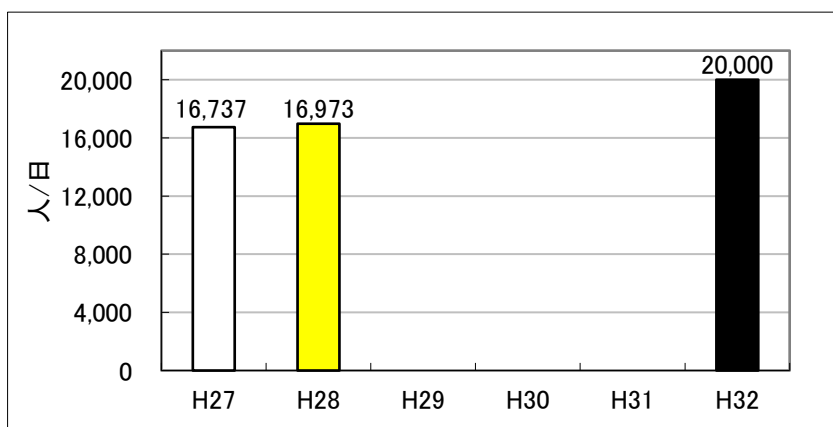
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成29年1月27日に「パピオスあかし」に移転オープン後、すべての都市福利施設利用者数が増加している。特に「あかし市民図書館」の利用者数が移転2か月強で20万人を突破し、中心市街地の賑わいの中心となっている。「あかしこども広場」も目標値以上の利用者数となっている。平成29年4月の全面オープン後、さらなる増加が見込まれる。「あかし総合窓口」の利用者数は増加しているが、目標値に達していない。

今後、施設の整備や運営内容の改善等を進め、都市福利施設利用者数の増加を持続させ、都市福利施設を活用したイベントや周辺の商店街等とのタイアップ企画等を推進し、中心市街地が活性化し続けるような対策を検討し、実施していくことにより、目標値の達成は可能だと思われる。

「歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方基本計画 P71～P75 参照

●調査結果の推移



年	人/日
H27	16,737 (基準年値)
H28	16,973
H29	
H30	
H31	
H32	
H32	20,000 (目標値)

※調査方法：毎年10月第2週の日曜日及び月曜日の10時から18時まで中心市街地内に設定した6地点で歩行者・自転車通行量を調査する

※調査日：平成28年10月16日(日曜日)及び平成28年10月24日(月曜日)(10月17日(月曜日)が雨天予報だったため予備日に実施)

※調査主体：明石市

※調査対象：中心市街地内6地点(国道2号南側商店街区域内)における歩行者・自転車通行量

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 明石駅前南地区第一種市街地再開発事業(明石駅前南地区市街地再開発組合)

事業完了時期	平成23年度～平成28年度【済】
事業概要	明石駅前において耐震性と床の有効活用に課題を残す建築物を共同化し、商業や行政サービス施設、高層住宅からなる中心市街地の拠点となる複合施設を整備する。
事業効果及び進捗状況	平成28年12月1日明石駅前再開発ビル「パピオスあかし」としてオープンした。明石駅前と国道2号南地区とを結ぶ新たな中心市街地の拠点施設となった。集客効果が高く、中心市街地の活性化及び回遊性の向上が期待される。平成29年3月に事業完了。

②. 本のまち明石関連事業(明石市)

事業完了時期	平成27年度～【実施中】
事業概要	本のまち明石推進のための拠点施設である「あかし市民図書館」を中心として、開館イベントをはじめ本をキーワードとした各種イベント、市街地内の各施設と連携したまちなか図書館等を実施する。
事業効果及び進捗状況	平成29年1月27日に「あかし市民図書館」がオープンした。集客力が高く、中心市街地の来街者の増加に貢献している。今後、図書館だけでなく、周辺施設と連携したイベント等を実施することにより、中心市街地全体の回遊性を向上させることを図る。

③. 駅前高層住宅整備事業(民間事業者)

事業完了時期	平成26年度～平成28年度【済】
事業概要	明石駅前南地区市街地再開発ビル内に都市型高層住宅を整備する。
事業効果及び進捗状況	平成29年3月末から入居開始となった。総戸数214戸のうち、販売対象戸数が199戸あり、登録即日完売であった。入居後は新たな住民による新たな回遊性と通行量の増加を図る。

④. あかし市民広場整備(明石市)

事業完了時期	平成26年度～平成28年度【済】
事業概要	「パピオスあかし」に市民が集い、賑わい、憩う空間で、情報発信の拠点となるイベント広場空間を整備し、市内の観光等の情報発信やイベントを実施する。
事業効果及び	平成28年12月9日にオープンした。オープン初日の明石駅前南地区

進捗状況	まちびらき記念式典には多くの人が集まった。現在、定期的にイベントが行われ、多くの人が集まり、集客効果が高い。イベント開催日以外も憩いの場として活用されている。あかし市民広場を通過して、国道2号南側商店街を訪れることができ、回遊性の向上を図る。
------	---

⑤. 明石まちなかバル事業（明石まちなかバル実行委員会）

事業完了時期	平成23年度～【実施中】
事業概要	商店街が一体となり各店連携しながら、販売促進を兼ねた事業として、飲食店を中心としたバル事業を行う。
事業効果及び進捗状況	平成28年度は6月と11月に実施した。平成23年の第1回から計11回開催している。参加店舗数及びチケット販売額は当初から増加しており、恒例イベントとして定着している。バル事業で集客することで商店街のPRを行い、バル当日だけでなく後日の来街を促し、中心市街地への来街目的の創出及び回遊性の向上を図る。

⑥. ほんまち三白館活用事業（本町商店街振興組合・各商店街）

事業完了時期	平成27年度～【実施中】
事業概要	大衆演劇場に改修されたほんまち三白館において、大衆演劇の公演や近隣店舗との提携事業を実施する。
事業効果及び進捗状況	平成27年12月に「ほんまち三白館」としてオープンした。中心市街地の南地区に位置し、地域住民や文化の交流拠点となっている。月ごとに定期公演を行っており、新規客や常連客が観覧している。集客力があるため、集客効果を周辺地域に波及できるような取り組みを進め、中心市街地への来街目的の創出及び回遊性の向上を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

毎年10月に調査を行っているため、平成28年度は「パピオスあかし」オープン前の調査となった。歩行者・自転車通行量は基準値から微増となったものの目標値を下回った。

参考に「パピオスあかし」オープン後の平成29年2月に調査したところ、目標値を下回ったものの基準値から大幅に増加し、賑わいと回遊性が向上したことがわかる。また、明石駅から「パピオスあかし」を通り抜け、国道2号線立体横断歩行者道路を通行し、南側の商店街まで、天候に左右されることなく通行できるようになり、回遊性が向上した。施設整備により回遊性が向上したが、下げ止まり傾向であった歩行者・自転車通行量を大幅に増加させるには至っていない。

平成29年度は「パピオスあかし」の住宅棟（214戸）に入居した住民により通行量が増える見込みがある。

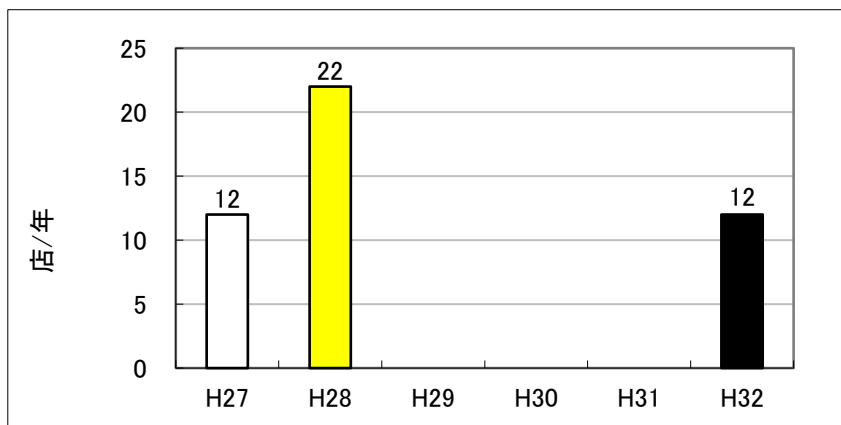
目標を達成するために「パピオスあかし」オープンで増加した来街者を「パピオスあかし」でとどめることがなく、国道2号より南側商店街に誘導し、通行量を増加させる必要がある。

今後は、「あかし市民図書館」を拠点に本のまち明石事業を推進し、「あかし市民広場」を有効に利活用し、「パピオスあかし」の集客力をさらに高めることが必要になる。「パピオスあかし」と国道2号南側の商店街と連携したイベントを展開し、来街者を国道2号南側の商店街を回遊さ

せる必要がある。また、明石まちなかバル、春旬祭及び明石半夏生たこまつり等のイベントをさらに定着させ、「ほんまち三白館」の集客力を生かし、商店街へ足を運ぶ目的を創出していくことができる施策を検討し、実施することにより目標値の達成は可能だと思われる。

「新規出店者数」※目標設定の考え方基本計画 P79～P81 参照

●調査結果の推移



年	店/年
H27	12 (基準年値)
H28	22
H29	
H30	
H31	
H32	12 (目標値)

※調査方法：毎年10月の平日と休日の昼間（12～13時）と夜間（19～20時）

に店舗を実地視察し、前年度からの店舗の変化状況を調査する

※調査日：平成28年10月7日（金曜日）及び10月9日（日曜日）

※調査主体：明石市

※調査対象：国道2号線より南側の商店街区域の代表的な7か所の通りに面した店舗

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 市道明石中央42号線ほか歩行環境整備（明石市）

事業完了時期	平成27年度～平成32年度【実施中】
事業概要	本町地区を中心とした商店街および明石港付近における道路の美装化や排水機能の改善を行う。
事業効果及び進捗状況	十分な歩行環境の確保と、排水機能を改善した快適な歩道により、商店街の商業環境を向上させ、新規出店しやすくする。平成29年度に魚の棚商店街の歩道の舗装工事を予定している。

②. 明淡線自転車駐車場整備事業（明石市）

事業完了時期	平成27年度～平成28年度【済】
事業概要	歩道拡幅にあわせた路上でのラック式駐輪施設の整備を行う。
事業効果及び進捗状況	道路改良工事と併せ、歩道に駐輪施設を整備することにより、自転車での来街者を増加させ、商業環境の向上を図る。歩道が整理され歩きやすくなるため、歩行者の回遊性の向上も図る。

③. 景観向上施策推進事業（各商店街・明石市）

事業完了時期	平成23年度～【実施中】
--------	--------------

事業概要	景観資源として重要な商店街や明石駅前周辺において、景観づくりの取り組みを進めるほか、都市景観形成地区指定を目指した取り組みの支援を実施する。
事業効果及び進捗状況	各商店街における景観づくりの取り組みを推進し支援を行い、魅力的な街並みを創造し、商業環境の向上を図る。

④. 春旬祭事業（春旬祭実行委員会）

事業完了時期	平成 14 年度～【実施中】
事業概要	明石に春を告げる魚であるイカナゴ漁の解禁に合わせ、「魚を楽しむまち」をテーマとして魚の棚を中心に各商店街が連携し、明石らしいお祭りを行う。
事業効果及び進捗状況	平成 28 年度は平成 29 年 3 月 4 日と 3 月 5 日に開催した。平成 14 年の第 1 回から計 14 回開催している定着したイベントである。明石の特産品である魚や地酒等を PR し、来街者が楽しめる明石ならではの祭りであり、中心市街地への来街目的の創出と魅力向上を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

「パピオスあかし」オープン前に調査を行ったが、数値目標を大きく上回った。「パピオスあかし」オープンに伴う来街者の増加及び商業環境の向上を見込み新規出店者数が増加した。

今後、道路の舗装や駐輪場等の環境整備やイベントを行い、商店街の価値を高め、来街者を増やし、新規出店の持続を図ることにより、目標値の達成は可能と思われる。